

資 料

【資料 1】

八潮市中央一丁目交差点道路陥没救助事案に関する検討委員会 委員等名簿

1 委員長

永田 尚三 関西大学社会安全学部社会安全研究科教授

2 委員長代理

原田 久 立教大学法学部政治学科教授

3 委員

新井場 公德 総務省消防庁消防大学校消防研究センター火災災害調査部長

岡田 孝明 埼玉東部消防組合消防局久喜消防署久喜大隊長

齋藤 辰男 東京消防庁即応対処部隊担当課長

高安 宏忠 さいたま市消防局警防部警防課副参事

大良 伸吾 川口市消防局東消防署消防課指揮第 1 係指揮担当長

細川 直史 東京理科大学創域理工学研究科国際火災科学専攻教授

4 事務局

草加八潮消防局

【資料 2】

事実関係の時系列

1 令和 7 年 1 月 28 日の時系列

- 9 時 5 0 分 出動指令
- 9 時 5 5 分 現場到着（八潮指揮 1、八潮 1、八潮 2、八潮救助 1 及び救急八潮 3）
陥没穴内部にトラック 1 台が落下し、トラックキャビンが埋まっていた。
- 9 時 5 6 分 現場指揮本部設置
- 1 0 時 0 8 分 増隊要請（草加救助 1、草加はしご 1）
- 1 0 時 1 3 分 増隊要請（救急八潮 1）
- 1 0 時 1 6 分 中州救助法により、隊員 2 名陥没穴に進入
- 1 0 時 2 5 分 陥没穴内部に進入後、要救助者は目視不可
要救助者呼びかけに反応あり。
- 1 0 時 2 8 分 草加救助 1 及び草加はしご 1 現着
- 1 0 時 4 0 分 陥没穴内部の崩落により隊員 2 名緊急退避
- 1 0 時 4 3 分 救出方針の再協議
- 1 1 時 2 4 分 救助工作車クレーンでの隊員吊り下げ進入（隊員 2 名）
- 1 1 時 3 0 分 崩落により隊員 2 名負傷 緊急退避
- 1 1 時 4 8 分 八潮はしご 1 特命出動
- 1 1 時 5 3 分 八潮はしご 1 現場到着
- 1 2 時 1 2 分 民間企業の重機を要請する方針決定
- 1 2 時 3 4 分 八潮はしご 1 バスケットから陥没穴内部への進入に変更。隊員 3 名が陥没穴内部に進入。
この後、退避と進入を繰り返す。
- 1 2 時 4 1 分 陥没穴内部で崩落予兆あり。緊急退避
- 1 2 時 4 7 分 活動方針変更
トラックキャビン付近を進入禁止とし、トラックにワイヤーを玉掛け、救助工作車クレーンで引き、少しでも引き出す活動に変更
- 1 3 時 1 5 分 埼玉県下消防相互応援協定に基づく第 4 ブロック幹事消防本部

- (埼玉東部消防組合消防局) が先行調査隊派遣を決定
- 1 3 時 5 0 分 警防本部設置
 - 1 4 時 3 3 分 埼玉東部消防組合消防局先行調査隊現場到着
 - 1 4 時 4 6 分 1 6 時まで 八潮救助 1 及び草加救助 1 のクレーン、ウインチ
でトラック引き出しを実施 (1 6 時頃までに計 3 回実施)
クレーン車での引き出しのための玉掛け実施
 - 1 5 時 0 0 分 要救助者の反応あり
 - 1 6 時 0 7 分 2 5 t クレーン車 (1 台目) 到着
 - 1 6 時 2 0 分 飲食店前歩道付近道路下空洞の確認
調査後、現場指揮本部を移動
 - 1 6 時 4 2 分 4 回目、2 5 t クレーン車によるトラック引き出し活動
 - 1 6 時 5 1 分 5 回目、2 5 t クレーン車によるトラック引き出し活動
 - 1 7 時 1 5 分 6 回目、2 5 t クレーン車によるトラック引き出し活動
 - 1 7 時 4 3 分 7 回目、2 5 t クレーン車及び救助工作車によるトラック引き
出し活動
 - 1 7 時 4 9 分 2 5 t クレーン (2 台目) 現場到着
 - 1 8 時台 8 回目、2 5 t クレーン車 2 台及び救助工作車によるトラック
引き出し活動
 - 1 9 時 0 7 分 7 0 t クレーン車現場到着
 - 1 9 時 2 3 分 6 0 t クレーン車現場到着
 - 2 0 時 0 0 分 9 回目、6 0 t クレーン車、7 0 t クレーン車及び救助工作車
によるトラック引き出し活動
 - 2 0 時 3 0 分 トラックに玉掛けしていたワイヤー破断
 - 2 1 時 5 7 分 1 0 回目、6 0 t クレーン車、7 0 t クレーン車及び 2 5 t ク
レーン車によるトラック引き出し活動
 - 2 3 時 3 5 分 活動方針協議

2 令和 7 年 1 月 2 9 日の時系列

- 0 時 1 2 分 陥没穴内部の水量増加及び臭気を確認
- 0 時 1 6 分 陥没穴内部の水量増加及びガス検知器鳴動
- 0 時 1 7 分 トラック及び陥没穴内部の土砂等が陥没穴内部に引き込まれ、
同時にトラックに玉掛けしていたワイヤーが引っ張られる。ト
ラックが引き込まれた際に陥没穴内部で垂直となる。

- 0 時 1 8 分 飲食店看板前の電柱が沈み込む。
- 1 時 0 1 分 1 1 回目、6 0 t クレーン車、7 0 t クレーン車及び 2 5 t クレーン車によるトラック引き上げ活動
- 1 時 0 3 分 キャビンを除くトラックが引き上がる。
陥没穴内部でトラックキャビンは目視不可
飲食店看板崩落
- 1 時 4 0 分 現場にいた関係者と情報共有及び今後の方針を決定
- 2 時 4 9 分 1 2 回目、6 0 t クレーン車によるトラック引き上げ活動においてトラック（キャビンを除く）を地上に降ろす。
- 3 時 1 2 分 陥没穴内部状況を確認。トラックキャビンは目視できず。
- 3 時 2 8 分 以後の活動について関係機関と協議
①継続している崩落、②水量の増加、③吸込み現象
上記理由により陥没穴に進入できないため、埼玉県による現地調査後、調査結果を踏まえ活動可能かを判断することとなる。
- 4 時 0 3 分 崩落内部の監視のため、現場警戒隊配備
- 1 0 時 2 2 分 民間企業が現場調査を実施。陥没穴内部の排水方法を検討
- 1 2 時 0 3 分 埼玉東部消防組合消防局指揮隊 到着
- 1 2 時 0 8 分 東京消防庁即応対処部隊 到着
- 1 2 時 2 6 分 さいたま市消防局指揮支援隊 警防本部到着
- 1 2 時 3 9 分 さいたま市消防局埼玉県下消防相互応援特命要請隊 到着
- 1 2 時 4 0 分 応援消防機関と協議
- 1 2 時 5 0 分 東京消防庁及びさいたま市消防局のドローンで陥没穴を空撮
- 1 3 時 4 9 分 応援消防機関と状況確認及び活動協議
- 1 4 時 0 0 分 地中空洞確認作業
- 1 6 時 3 0 分 応援消防機関及び民間企業と活動方針を決定
- 1 7 時 0 0 分 隊員、陥没穴内部進入
- 1 7 時 1 4 分 崩落により緊急退避
- 1 7 時 5 0 分 活動方針協議
- 2 0 時 2 0 分 油圧ショベル（1 台目）がスロープ作成開始。地盤が硬く掘削できず。
- 2 1 時 3 8 分 1 0 m スライドアームユンボ到着（2 台目）
- 2 2 時 2 1 分 油圧ショベル（1 台目）及び 1 0 m スライドアームユンボ（2 台目）でスロープ作成を試みたが、地盤が硬く掘削できず
中断

2 3 時 0 8 分 1 0 m スライドアームユンボ（2 台目）先端が陥没穴内部へ届かなかった。

3 令和 7 年 1 月 3 0 日の時系列

0 時 0 5 分 2 0 m スライドアームユンボ（3 台目）現場到着
1 時 5 0 分 2 0 m スライドアームユンボ（3 台目）は、活線障害のため作業中断
2 時 3 7 分 大規模崩落（1 月 2 8 日及び 1 月 2 9 日の陥没穴が崩落によって一つの陥没穴となる。）
5 時 3 0 分 現場関係者による合同調整会議を実施
1 1 時 4 5 分 総務省消防庁リエゾン到着
1 3 時 2 0 分 地盤調査開始（民間企業）
1 3 時 4 7 分 民間企業が飲食店駐車場から第 1 スロープ造成開始

4 令和 7 年 2 月 1 日以降の時系列

（2 月 1 日）

9 時 0 0 分 現地災害対策本部会議
1 2 時 0 0 分 第 1 スロープ完成 がれき撤去開始
1 2 時 0 5 分 埼玉県下消防相互応援に基づき、さいたま市消防局、埼玉東部消防組合消防局に応援要請
1 6 時 5 0 分 関係機関との会議
1 8 時 0 0 分 水量が増加しているため、がれき撤去作業を一時中断
応援消防機関は引き揚げ

（2 月 3 日）

8 時 1 0 分 総務省消防庁消防研究センター職員が陥没現場確認

（2 月 4 日）

1 0 時 0 0 分 応援消防機関等と救出方法についての会議
1 1 時 3 5 分 消防機関で現地調査実施
1 4 時 0 0 分 総務省消防庁消防研究センター職員の現場評価を受ける。

（2 月 5 日）

1 8 時 3 0 分 埼玉県知事が下水道管渠内にトラックキャビンらしきものを発見したと発表

（2 月 9 日）

7時27分 陥没穴内部の検索活動を民間重機により実施

9時50分 消防機関部隊長会議

(2月11日から4月30日まで)

埼玉県がドローンによる下水道管渠内で発見したトラックキャビンらしきものがトラックキャビンであると断定され、キャビン内に要救助者がいる可能性が高いとされて以降、埼玉県による土木的措置が完了し、下水道管渠内のトラックキャビンへのアクセスが可能になるまで現場警戒及び関係機関との協議を継続

(5月1日)

5時16分 下水道管渠内の偵察活動を実施

6時09分 要救助者らしきものを確認

(5月2日)

5時15分 救助活動開始

6時33分 トラックキャビンから要救助者を救出

7時39分 地上へ救出完了

【資料3】

災害発生場所（上空写真）



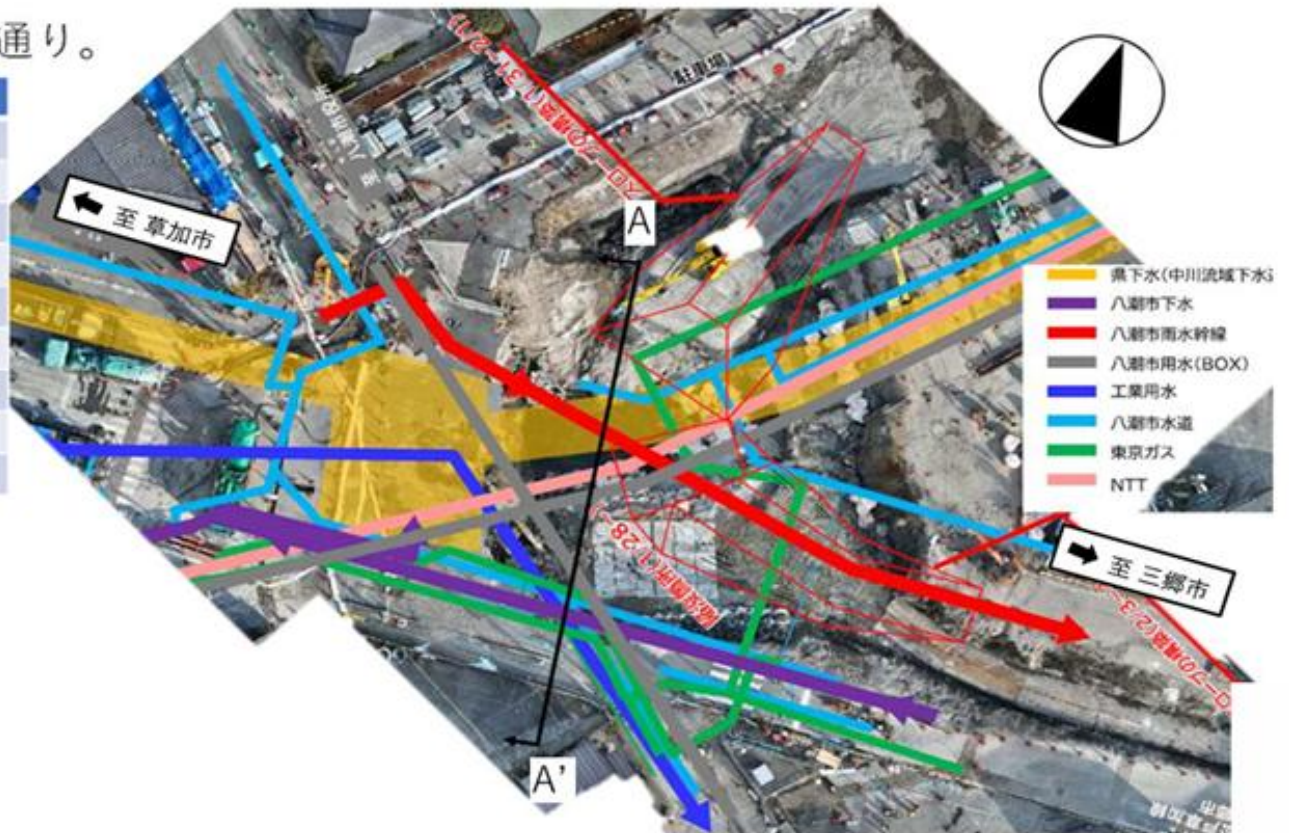
引用：Google 社 Google Map

2. 現地状況

(4) 地下埋設物

当該地点の地下埋設物は下表の通り。

種別	形状・寸法	管理者
中川流域下水道	円形・φ4,750	埼玉県
八潮市下水道	円形・φ1,000	八潮市
八潮市雨水幹線	矩形・□2,100	八潮市
八潮市用水(その1)	矩形・□1,500	八潮市
八潮市用水(その2)	矩形・□1,500	八潮市
工業用水	円形・φ500	八潮市
八潮市水道	円形・φ100,300,500	八潮市
ガス管	円形・φ200	東京ガス
通信管	400×250に5条	NTT



引用：八潮市で発生した道路陥没事故に関する原因究明委員会 第1回委員会資料 HP から抜粋

陥没穴状況写真

1月28日
10時00分



1月28日
10時33分



1月28日
12時17分



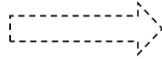
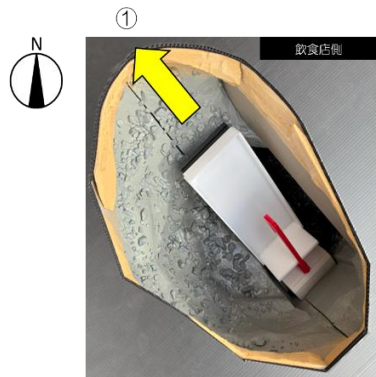
1月28日
15時34分



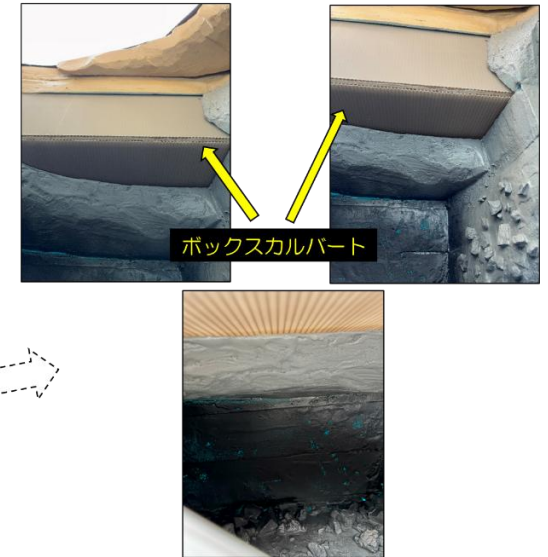
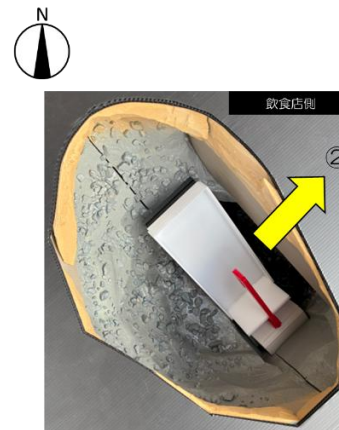
* 上記写真については、個人情報保護の観点から、色調の変更等の画像加工を行っています。

陥没穴内部から見た状況

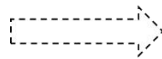
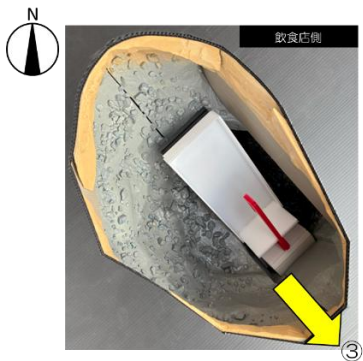
陥没穴内部から地上を見た状況



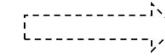
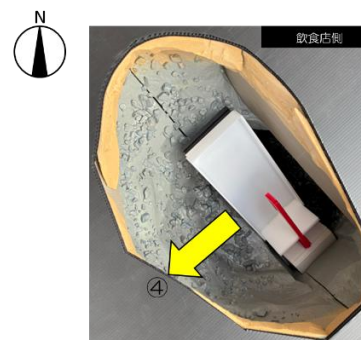
陥没穴内部から地上を見た状況



陥没穴内部から地上を見た状況



陥没穴内部から地上を見た状況



* 草加八潮消防局制作の模型（1／20サイズ）にて再現

陥没穴上空の活線状況



①



②



③



引用：Google 社 Google Map